

トピックス

◎リチウムイオンキャパシタ事業合弁会社設立

当社は、旭化成株式会社と本年10月3日に次世代の蓄電デバイスであるリチウムイオンキャパシタの事業を目的とする新会社「旭化成FDKエナジーデバイス株式会社」を設立いたしました。当社と旭化成株式会社の優位技術を融合し、リチウムイオンキャパシタの市場創出のスピードを加速することで、業容拡大および企業価値向上を目指しております。

リチウムイオンキャパシタは従来からある電気二重層キャパシタに比べ高容量で、かつ、リチウムイオン電池より長寿命であることが認識されつつあり、建設機械・瞬停対策装置・自動車などへの需要が見込まれております。平成27年以降、その市場は1,000億円以上に大きく成長するものと見ております。



◎期待寿命5年を実現した「薄形リチウム一次電池」を量産・出荷開始

当社は、本年2月に薄形リチウム一次電池の開発を発表し、9月より量産・出荷を開始いたしました。

本製品は、優れた低自己放電特性（室温で年3%以下）とそれによる期待寿命5年の長寿命を実現しました。厚さ0.42ミリ、重さ0.5グラム以下と薄形・軽量でありそのサイズと端子形状からクレジットカードなど長期間での使用を想定した様々な用途でお使いいただけます。

今後は、ワンタイムパスワード機能付きカードやディスプレイ付きカードなどの普及による需要拡大を期待するとともに、医療用セキュリティシステム、カード形セキュリティシステムなど他の用途へのご提案を進めてまいります。

